



お知らせ

1. 件名

海外12カ国の技術者が 『富士山の砂防事業』を視察します

2. 概要

7月9日に、独立行政法人国際協力機構（JICA）の、インフラ施設による自然災害に対する抑止・軽減対策および復旧対策研修で、12カ国（下記5. 参照）の技術者が、国土交通省富士砂防事務所の実施している大沢川の扇状地での土石流対策の現場視察を行います。この研修は、5月13日から7月20日までの約2ヶ月の日程で技術者を日本に招いて実施しているもので、日本各地のインフラ施設を視察しているものです。

3. 日時

平成25年 7月 9日（火） 13時00分から16時30分

4. 視察場所

富士砂防事務所、大沢川扇状地

5. 参加者

12カ国18名

（フィリピン、東ティモール、フィジー、パプアニューギニア、サモア、エルサルバドル、チリ、アフガニスタン、タジキスタン、セントルシア、ベネズエラ、ナイジェリア）

6. 資料配付先

富士宮市記者クラブ、富士市記者クラブ

7. 問い合わせ先

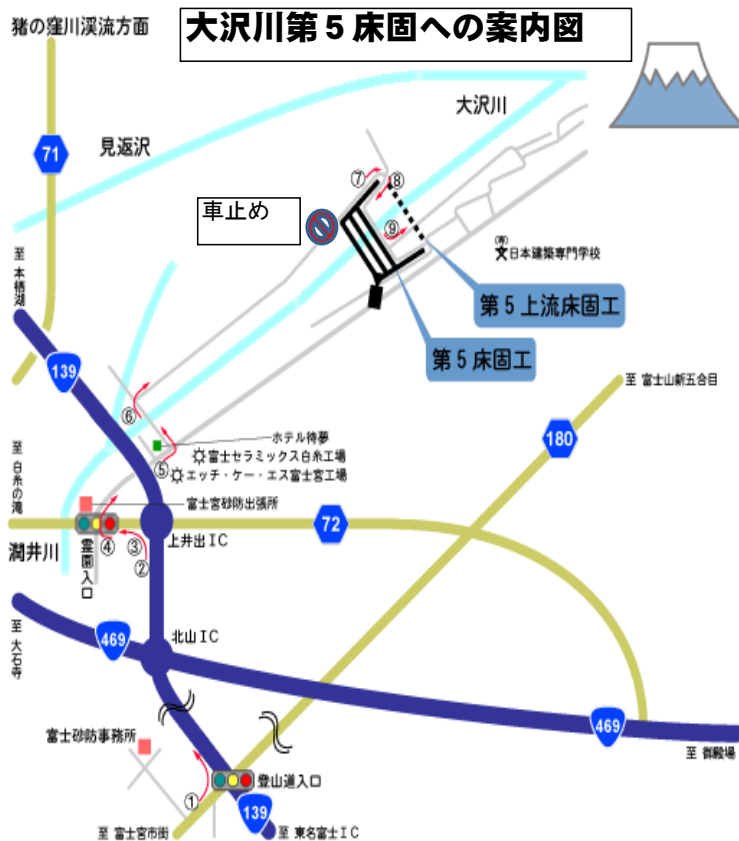
国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所
工務課長 山村 真司 0544-27-4354

(参考)

7月9日 JICA研修 現場視察行程(案)

13:00	富士砂防事務所(事業概要説明)
15:00	大沢扇状地 第5床固
15:35	大沢扇状地 岩樋観測所
16:15	大沢扇状地 ストックヤード

(注)時間は、到着予定時間。天候等により変更となることがあります。
現地での取材は、工事用車両に御注意願います。



上井出インター付近詳細

